

平成23年度解析・シミュレーション研究会（新規会員募集）のご案内

「数値流体解析の基礎」

近年、製造業においては、グローバル化が進み、競争の激化、モノづくりの高度化・複雑化の傾向がますます強くなっています。解析・シミュレーション技術は、コストダウン、開発サイクルの短縮に大きな成果を上げており、その活用はモノづくりにおいて必要不可欠なものとなってきています。

しかし、その解析を行うためには、複雑な設定や専門的な知識を必要とするため、解析ソフトウェアを導入しても十分に活用しきれていない企業や導入に踏み切れていない企業も多いといわれています。

本研究会は、昨年度まで構造解析に取り組んできましたが、今年度は新たに、自動車、船舶、航空機、建築・設備産業、及び送風機等の流体機器産業の分野で活用されている流体解析に取り組めます。

既に流体解析ソフトウェアを活用されている企業だけでなく、「流体」にかかわる企業のみならず、みなさまにとって有意義な内容です。

平成23年度、新規に会員を募集いたしますので、奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

◇テーマ 「数値流体解析の基礎」

◇開催期間 平成23年7月から平成24年3月まで（6回開催予定、1回3時間半程度）
第1回研究会 「流体力学、水力学の基礎」
7月29日（金）又は8月3日（水）を予定。会員の要望をふまえて決定します。

◇開催場所 広島市工業技術センター
広島市中区千田町三丁目8-24（中区スポーツセンター南隣）
駐車場有（無料）

◇アドバイザー 広島大学大学院工学研究科 機械システム工学専攻
准教授 尾形 陽一 氏（理学博士）

アドバイザー紹介

東京工業大学大学院総合理工学研究科を経て、2007年から現職。

数値流体力学、流体工学をご専門に、「CIP法による流体・構造連成（魚体モデル、渦励振等）解析」、「希薄流・中程度希薄流へのBGK・Navier-Stokes方程式の応用と数値解析」などの研究をされています。

著書：「CIP法 原子から宇宙までを解くマルチスケール解法」（森北出版）共著

「CIP法とJavaによるCGシミュレーション」（森北出版）共著

◇内容 下記についての解説を中心に講義形式で行います。

- ・流体解析に必要な流体力学、水力学の基礎
- ・流体特有の事例紹介
- ・流体機械
- ・数値計算の基礎
- ・差分法
- ・流体解析を行う上での留意事項
- ・解析結果の評価

◇参加費 無料

◇申込方法 下記の様式により会社名、参加者氏名及び連絡先（電話又はe-mail）をご記入のうえ、e-mail 又はFaxにて、7月20日（水）までにお申し込みください。
（e-mailにて申込される場合は、メール本文に必要事項を記載していただいてもかまいません。）

◇問い合わせ先 財団法人広島市産業振興センター技術振興部システム技術室
（広島市工業技術センター内）
担当：西田、上杉
Tel:082-242-4170 Fax:082-245-7199
E-mail:nishida-o@itc.city.hiroshima.jp

平成23年度解析・シミュレーション研究会申込書

財団法人広島市産業振興センター技術振興部システム技術室 西田 宛
e-mail:nishida-o@itc.city.hiroshima.jp
Fax:082-245-7199

会社名	
参加者氏名	
連絡先 (電話又はe-mail)	

ご記入いただいた個人情報について、第三者への開示は法令に基づく開示など特別な場合を除き、提供された目的を超えて開示しません。ただし、研究会や講習会のご案内など財団の事業活動の範囲内において利用することをご了承ください。